



「2020 日化協 R C 委員会活動報告会/RC 賞受賞講演会」

..... 次 第

2020年10月19日(月) 13:10~17:00

WEB開催

開催場所：日化協（住友六甲ビル2階）会議室

12:45	開場（アクセス受付開始）
13:10	開会挨拶 （一社）日本化学工業協会 常務理事 永松 茂樹
13:15	審査委員長講評 東京大学 工学系研究科 化学システム工学専攻 教授 工学博士 平尾 雅彦 氏
	レスポンシブル・ケア（RC）賞 受賞講演
13:30	RC大賞 ダイキン工業株式会社 淀川製作所
14:00	RC審査員特別賞 厚和産業株式会社（日本化薬グループ）
14:30	RC審査員特別賞 JSR株式会社 鹿島工場
15:00	RC優秀賞 住友化学株式会社 三沢工場
15:30	RC優秀賞 積水化学工業株式会社 生産基盤強化センター 安全環境グループ
16:00	RC優秀賞 東レ株式会社
16:30	RC優秀賞 三井化学株式会社 名古屋工場
17:00	閉会
	各講演開始時間は、全て記載時間で固定とし、前の発表が早く終了しても繰り上げは行いません。 また途中に休憩時間を設けておりませんが、各講演は、発表15分+質問10分を標準とし、次の講演までに少なくとも5分程度のインターバル（切換え準備時間）が入る予定です。

注) 各講演のテーマ・概要につきましては、次頁以降をご参照下さい。

>>>> 講演内容紹介 <<<<

[1] 日化協レスポンシブル・ケア賞 受賞講演

レスポンシブル・ケア賞は、レスポンシブル・ケア（RC）活動に携わっている方々の活動意欲の向上と活動の活性化とを目指して、2006年に創設されました。そして2013年度の第8回からは、安全表彰・技術賞と並ぶ日化協3賞の一つに昇格させ、現在に至っております。

具体的には、RCの6コード（保安防災、労働安全衛生、環境保全、コミュニケーション、化学品・製品安全、物流安全）に関する活動の普及や推進に優れた功績を残した 或いは 貢献をした事業所・部門・グループまたは個人を表彰しています。

2019年度は、以下の7件をRC大賞、RC審査員特別賞、RC優秀賞として表彰しました。

【日化協RC大賞】 1件

ダイキン工業株式会社 淀川製作所

テーマ： 仕組みと人に着眼した、全従業員参画の機械安全の推進

活動： 全員参画のリスクアセスメントを推進し、機械安全の仕組みを定着させ、業務の中に織り込んだ。同時に、現場の声を設備設計に反映させる仕組みも構築。これらの 仕組みを着実に運用し、直近5年間は「機械災害ゼロ」を続けている。

【日化協RC審査員特別賞】 2件

厚和産業株式会社（日本化薬グループ）

テーマ： 厚和産業における安全文化構築活動

活動： 2010年度より、①体験型教育訓練機（愛称：エスペランサ）の製作及び教育システムの構築、②ヒヤリハット活用による職場等の課題発掘、③健康増進プロジェクトに取り組み、2018年度以降、無事故無災害を継続している。

JSR株式会社 鹿島工場

テーマ： 配管外面腐食対策プロジェクトの推進

活動： 設備の老朽化に加え塩害による腐食が激しい鹿島工場では、微少漏洩事故の発生など保安上の重大リスクが増大していた。そこで、①点検・防食施工、②点検技術検討、③設計・検査基準見直しの3チームからなるプロジェクト体制を構築し、ICTやドローンの活用を図り、約3万箇所の1次点検を実施。腐食箇所に対して適切な対応を取って設備事故の未然防止を図った。

* ICT： Information and Communication Technology（情報通信技術）

【日化協RC優秀賞】 4件

住友化学株式会社 三沢工場

テーマ： 三沢工場のRC活動を事例とした住友化学サステナビリティ推進への取り組み

活動： 住友化学では、サステナビリティ推進のため、経済価値と社会価値をともに創出していくことを目指しており、三沢工場でも、社会価値創出に繋がる「環境負荷低減」や将来の価値創造のため「技術革新」に取り組んできた。環境負荷低減のテーマでは、GHG排出量の削減、排水処理の高度化などに取り組み成果を挙げ、ICT技術導入では、ドローンの保安分野への適用やモバイルHISの積極的活用などに取り組んでいる。

* GHG： Greenhouse Gas（温室効果ガス）

積水化学工業株式会社 生産基盤強化センター 安全環境グループ

テーマ： 安全活動を牽引するキーマンの育成

活動： 積水グループの国内各事業所では、安全管理者と連携して、自主的に安全活動を推進するキーマン「セーフティリーダー（SL）」を育成し、その SL を中心に生産設備の安全に対するリスクの抽出とその改善、及び 若手への安全教育を全社レベルで実施。その結果、設備起因の「挟まれ・巻き込まれ事故」は半減し、勤続 2 年以下の若手の労災も約 1/3 に減少した。

東レ株式会社

テーマ： 火災防止プロジェクトの推進

活動： ダクト火災の根絶と大規模爆発火災を防止するため、火災防止プロジェクトを 2012 年に開始し、海外を含む東レグループで、ダクト火災と可燃物火災とを 70%以上削減した。（ヒヤリハットを含む）

三井化学株式会社 名古屋工場

テーマ： 三井化学名古屋工場 環境負荷低減への取り組み

活動： 都市部に位置する工場として、環境負荷の低減を継続的に進めている。特にGHG排出量では大幅な削減（2009 年度から 2018 年度の 9 年間で約 70%削減）を達成した。